

オリジナル商品の開発と商標登録で新たなビジネスにチャレンジ

会社概要

伸商機工株式会社（須坂市）

1976年11月設立 資本金1,000万円 従業員27名

同社は精密板金加工の専門メーカーとしてお客様の理想を形にしています。地元の大手通信機メーカーや金型メーカーなどとの取引で発展してきました。現在は半導体製造装置向けのトビラやカバー、フレーム、ブラケットなどが受注の70%近くを占めています。

きっかけ

これまでの事業は受託加工が中心でしたが現社長（二代目）は「B to Cの比率を高めたい」と考えて従業員からもアイデアを募ってオリジナル商品の開発に注力してきました。全社で奮闘した成果として薪ストーブ「ぬく太郎」と焚き火台「もえ太郎」が誕生しました。

社長から「ブランド力を高めるにはどうしたらよいか」相談を受けた須坂市産業連携開発課を通じて知財総合支援窓口で商標出願の相談がありました。

支援内容・ポイント

初めに商標制度の特徴を説明しJ-Plat Patを用いた商標の検索方法を実習指導しました。類似商標は発見されなかったため専門家相談会を経て商標を自社出願して早期審査を申出た結果5か月後の2022年1月に2件とも商標登録できました。

その後社長と改めて協議して企業名「伸商機工」とオリジナル商品群のブランド名「まるのび商会」も自社出願して2022年8月に2件とも商標登録されました。

成果

確かな品質とユニークなネーミングで「ぬく太郎」「もえ太郎」は評判を呼び須坂市のふるさと納税返礼品に選ばれました。さらに2022年秋には大手プロダクションとコラボして側面に有名キャラクターがデザインされた「もえ太郎」特殊ver.も販売開始となり社長は手応えを感じています。

新型コロナ禍に伴う屋外キャンプ人気もあって「ぬく太郎」「もえ太郎」は売り上げを順調に伸ばしています。今後は商標登録を活かして大手通販サイトにブランド登録してストアページを開設するなど検討してネット通販による売り上げの一層の拡大を目指しています。



薪ストーブ「ぬく太郎」



焚き火台「もえ太郎」